

The International Criminal Tribunal for Iraq

イラク国際戦犯民衆法廷 実行委員会ニュース

11

月号

発行
2004年11月14日

<http://www.icti-e.com>

千葉公聴会で証言するアン・ジャバルさん



ファルージャ虐殺支持の小泉を許さない！

十一月八日、米占領軍はイスラム武装勢力の抵抗を口実としてファルージャへの無差別総攻撃を開始し、イラク市民への殺戮を激化させています。無差別にミサイルが発射され、病院が破壊され子どもたちにも死傷者が出るなど市民に多大な被害が出ています。攻撃の口実としたイスラム武装勢力が

12月東京公判(第3回・4回) を成功させよう！

12/11
~12
日本教育会館

カウイ幹部が脱出したと米司令官がみているにもかかわらず、米軍は平然と虐殺を続けているのです。イラク市民に対し占領軍とその傀儡政府に従わせるために攻撃しているのです。このような米占領軍による蛮行は明らかに戦争犯罪であり、絶対許すわけにはいきません。

同時に、攻撃支持表明をする小泉を私たちは許せません。国連のアナン事務総長までもが「武力行使がイラクを不安定化することもありうる」と懸念を表明している時に、小泉首相は九日、ファルージャへの総攻撃に「成功させなさいいけないですね。治安改善がイラク復興のかぎですから」と支持を表明したのです。小泉はイラク市民を犠牲にしても米占領軍支配が継続できればいい、イラク市民を占領軍と傀儡政府に完全に従わせて、早くイラク利権を本格的に獲得したいということなのです。さらに小泉は多くの国がイラクから撤退を決めている時に、自衛隊イラク派兵の一年間延長を強行しようとしています。小泉は明らかに自衛隊がイラク人を殺すこと、自衛隊員が殺されることを望んでいるとしかいえません。香田さん見殺し、攻撃支持表明、自衛隊派兵延長とその冷血さは際立っています。

反戦スーパーパワー、世界に広がる民衆法廷運動と共同して

小泉の支持表明を撤回させ、自衛隊の撤退を実現することは私たちの緊急の課題です。ブッシュ、ブレアはもちろぬ小泉の戦争犯罪を裁くこのイラク国際戦犯民衆法廷の成功がますます重要です。この間各地で取り組まれてきた公聴会、各地の反占領の取り組み、占領をやめさせイラク社会の再建を願うすべての人々の声を集めてイラク国際戦犯民衆法廷東京公判(第三回・四回)をぜひ成功させたいと思います。

今、イラク市民は占領軍の撤退とあらゆるテロに反対し自由、平等のイラク社会の再建のために立ち上がっています。地域の自治組織や失業労働者組合を建設する実例を築いてきているこのイラク市民レジスタンスの運動が占領をやめさせイラクの未来を切り開く道です。反戦スーパーパワー、世界に広がる民衆法廷運動と共同し、東京公判を成功させましょう。そして、世界からブッシュ、小泉、ブレアを追放しよう。

(東京公判実行委員会・稲垣敏彦)

12/11 - 12 東京公判	
日時	12/11 (土) 13:00 ~ 17:00 12/12 (日) 10:30 ~ 16:00
会場	日本教育会館・ホール
参加費	1日券2,000 2日券3,000
同時通訳レシーバ貸出	500円/日

発行：イラク国際戦犯民衆法廷実行委員会